



校長室の窓から

飯塚博文

※「校長室から」感じたこと等を不定期で発信していきます。

133 9月15日(月)

【林間学校裏話その4】

キャンプファイヤーでは、この小見川に大昔から住む「火の神」からのお話及び5人の火の子とともにいったファイヤーの点火までの静粛な内容から始まりました。その後、フォークダンス+1で楽しみました。+1は昨年度の外国語において、副校長より伝授された拍手+威勢のある掛け声の連呼が夜空に響きました。あっという間に時間が過ぎ、「今日の日はさようなら」でしめくくりました。学校ではできない活動に浸ったひとときとなりました。

132 9月14日(日)

【林間学校裏話その3】

青少年自然の家の食事はバイキング形式でした。よくある話として、どうしても目が欲しくなってしまう、あれもこれも取りすぎていい、腹痛につながることもしばしばありました。今回も懸念されていましたが、多くの子どもたちが、自分の食べられる量で盛り付けており、感心しました。メニューも多彩で、食べる楽しさに加え、選ぶ楽しさもあり、かつ美味とあって、満足のひとときでした。

131 9月13日(土)

【林間学校裏話その2】

昼食時の段階でも、今後の天気予報は下り坂と変わらず、2クール目以降の外活動が危ぶまれていました。が、奇跡的に雨が上がり、2クール目はカヌー活動並びに外遊びが予定通り実施できました。また、室内での創作活動でも蒸し暑さが取れ、活動しやすい状況でした。この段階では、3クール目からキャンプファイヤーにかけて雨予報が出ていました。しかしながら、いざ3クール目の時間になると、青空も垣間見え、結果3クールともほぼ予定通りの活動ができました。キャンプファイ

ヤーもきれいなお月様のもと実施できました。子どもたちの想いが天気予報を覆した1日目となりました。2クール目以降、カヌー活動並びに外遊びを変更しなくて本当によかったと安堵した1日目の夜でした。

130 9月12日（金）

【林間学校裏話その1】

1日目小見川に到着してしばらくたつと、大粒の雨が降ってきました。創作活動はともかく、カヌー活動や外遊びをどうするか。その後、雨が収まり、カヌー活動は実施、外遊びは体育館で行いました。しかしながら、体育館内は蒸し暑く、熱中症に気を付けながら、休憩をとりながら活動しました。創作活動も空調は入っていましたが蒸し暑く、教師側はとても気を遣いました。そんな中、子どもたちはそれぞれの活動を精一杯満喫していた姿が印象的でした。その反面、あと2クール控え、天気予報は夕方にかけて強い雨模様になると報じていました。それぞれの活動の実施が危ぶまれながら昼食を迎えました。 つづく

129 9月11日（木）

林間学校2日目を迎えました。今日の最大のメインはフィールドワークです。小見川の街をコマ図を参考に巡り、チェックポイントやクイズの答えを探し歩きます。グループで協力して、指定された70分で戻ってきます。早くても遅くても減点されます。ゲームではありますが、子どもたちはさまざまな困難を乗り越え、すべてのグループが戻ってきました。その後、プラネタリウム見学し、広場でお弁当を食べ、閉所式となりました。解散時には、多くの保護者の方の見守りがあり、心より感謝します。今回のお土産は、子どもたちからの思い出話です。

128 9月10日（水）

いよいよ林間学校が始まりました。昨年度までの内容を一新し、子どもたちの体験活動を重視した内容にリニューアルしました。1日目は、3クールに分かれて、それぞれが順番に創作活動、外遊び、カヌー活動を順番に体験しました。創作活動では、個々の希望により、多色盛り、石鹸づくり、草木染、フリットに分かれました。日没と同時に、行ったキャンプファイヤーも大盛況のうちに終わりました。心配された天気でしたが、予定通りの内容をこなすことができました。子どもたちの笑顔がはじけた1日目となりました。